

履修コード/科目名称	113401 / 社会科教育法V (公民)		
開講年度・期	2019年 前期	開講曜日・時限	土曜日 2時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	橋村 和昭 (ハシムラ カズアキ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	<p>総体的には中学・高等学校社会科、公民科の目標及び内容について理解し、社会科教育を通じて社会認識を深めることを目標とする。個別科目については「現代社会」は現代社会の基本的な問題に対する判断力の基礎を育成すること、人間としての在り方・生き方を考える様々の考え方を育成すること。「倫理」は社会との関わり、他者との関わりにおいて人間としての在り方・生き方を先哲に学びつつ、生きる力を持った人間性を涵養すること。「政治・経済」は民主主義の理解を深め、憲法を核とする政治の理念・制度についての理解を高めること、経済のグローバル化の中で市場経済の理念と現実を考察し、経済体制についての理解を育成すること。社会科各科目において以上の点を踏まえて、模擬授業グループでの学習指導案の作成、模擬授業の発表と相互批評を通じて授業運営の基本習得を目指す。授業は実技形式を基本とした展開になる。前期の模擬授業テーマは基本科目でもある「現代社会」を基に実施する。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>中学・高等学校社会科教員を目指す学生に、社会科・公民科教育の基本理念について講義するだけでなく、受講者は「学習指導要領」に基づく社会科各科目の性格と目標及びその内容と取扱いについて各科目の主たる下記の授業テーマに基づきながら模擬授業の指導案作成と授業運営及び批評を通して社会科科目の実践的土台を構築することを目指します。</p>		
授業スケジュール	第1回	社会科教育ガイダンス (教育課程と社会科・公民科、社会科教育の意義と目的など)	
	第2回	学習指導要領について (変遷・内容など)、社会科教科構造と授業設計、模擬授業についてなど	
	第3回	授業研究: 「幸福・正義・公正」の視点から経済・エネルギー・環境を考える	
	第4回	授業研究: 「幸福・正義・公正」の視点から生命・情報・科学技術を考える	
	第5回	授業研究: 個人の尊厳・自主・自律と公共	
	第6回	授業研究: 青年期の意義と自己形成、職業生活と社会参加	
	第7回	授業研究: 民主主義における個人と国家	
	第8回	授業研究: 日本国憲法の基本原理	
	第9回	授業研究: 基本的人権と法の支配	
	第10回	授業研究: 経済社会と経済体制	
	第11回	授業研究: 市場経済の仕組み	
	第12回	授業研究: 経済成長と景気変動	
	第13回	授業研究: 地域紛争と人種・民族問題	
	第14回	授業研究: 豊かな人生を求めて (3大世界宗教と民族宗教)	
	第15回	前期まとめ: 前期授業小テストなど	
準備学習	<p>模擬授業のテーマに関連して高校の基礎知識を確認しておいてください。文献等の準備は必要ありません。模擬授業グループは決定した自分たちの授業テーマについて授業前に教科書研究と模擬授業の指導案および発表の打ち合わせが必要になります。</p>		
履修上の留意点等	<p>模擬授業は受講者全員実施することが原則です。模擬授業も成績評価の一部です。模擬授業グループはそれぞれ上記のテーマのいずれかを選択し、学習指導案を作成します。学習指導案作成、模擬授業の展開についてはそれぞれのグループで授業外の時間に打ち合わせ、討議し、授業計画を練ってください。授業において学習指導案および授業関連プリントを受講者全員に配布し、グループ全員で各自が分担した部分について授業発表を行います。グループ分けについては年度当初の授業の中で指示します。受講者の人数に応じてグループの人数が増加する場合があります。模擬授業発表グループ以外の受講者は模擬授業を受講し、授業講評レポートを作成します。レポートは毎回授業内に作成</p>		

	し、授業終了後回収します。レポートの提出がない場合は最終評価で減点となります。	
成績評価の方法		試験
	40 %	レポート
	40 %	小テスト
	10 %	平常点
	10 %	模擬授業
教科書/テキスト	中学・高等学校の社会科教科書（特に出版社は指定しません）。必要に応じて授業でプリントを配布します。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	高等学校学習指導要領解説	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	受講者ができるだけ発話するアクティブな授業を心がけます。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		